

2024年3月22日

金融包摂型FinTechスタートアップGlobal Mobility Service株式会社

日本経済新聞社・金融庁主催 FIN/SUM2024にGMS代表の中島徳至が登壇
— 地域課題に取り組むGMS事例を紹介 —

世界の低与信層に向けた金融包摂型FinTechサービスをグローバルに展開する日本発のスタートアップGlobal Mobility Service 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:中島 徳至 以下、GMS)は、2024年3月5日から4日間にわたり開催された日本経済新聞社・金融庁が主催する「FIN/SUM2024」の主催者パネルディスカッションに登壇しました。

FINSUM2024 <https://www.finsum.jp/index.html>



金融庁パネルにおいてテクノロジーによる地域課題解決に向けて取り組むスタートアップ支援の必要性を提言

「金融庁パネル：テクノロジーで拓く地域の未来」を題して、地域課題をテクノロジーでどのように解決していくのかについて、内閣府大臣政務官の神田潤一氏らと共にディスカッションを行いました。

新たな活動事例という観点から、地域の担い手である個人の与信補強の事例を共有しました。中島は、時代とともに変化する地域の課題解決において、最新のテクノロジーを駆使し、外国人労働者やシングルペアレントなどがそれぞれ

れ活躍するために必要とされる金融サービスを与えられるよう、私たちFintechプレーヤーとともに地域金融機関が提供することこそが、求められる姿ではないかと主張しました。また、神田政務官に対し、中島は地域課題に取り組むスタートアップを増やすために、岸田政権が掲げた「スタートアップ五カ年計画」実現に向けて、実績を積み上げてきたレイターステージにおけるスタートアップを活用することが、ユニコーン企業を生み出す意味においても、重要なことではないかと要望を伝えた。



今後もGMSでは「真面目に働く人が正しく評価される仕組みを創造する」をビジョンに、生まれた国や地域や家庭によって区別されず、データによって個人がエンパワーメントされる社会の実現に向けて、理念を共有する金融機関をはじめとしたパートナー企業の皆様と事業展開を加速してまいります。

Global Mobility Service株式会社 概要

GMSは「真面目に働く人が正しく評価される仕組みを創造する」をビジョンに掲げ、世界の貧困/低所得層約14億人(*1)の信用創造を行う、日本発の金融包摂型FinTechのグローバルスタートアップ企業です。

日本国内及びASEAN諸国(フィリピン/カンボジア/インドネシア)において低所得層の方々の就業機会を創出する社会課題解決型のビジネスモデルは、SDGsの達成に直接的に貢献するビジネスエコシステムとして評価を得ています。相対的貧困率がG7でワースト2(*2)とされる日本国内において、当社はこれまで12社の金融機関・ファイナンス

企業との提携を通じ、従来のローンやリースの与信審査に通過しなかった方々に車両をお届けするサービスを展開しております。車両を入手し真面目に働くサービス利用者のデータを分析・可視化し、情報の価値化を行うことで、利用者のニーズに沿ったファイナンスを提供し、利用者が求める豊かな生活が送れる仕組みを創造しています。

*1出典:世界銀行 - The Global Findex Database 2021 *2出典:一般社団法人グラミン日本

当社の事業概要につきましては、以下の経団連Society5.0の動画をご参照ください。

<https://youtu.be/S9fXklbwYEY>



会社名: Global Mobility Service株式会社

代表者: 代表取締役社長CEO 中島 徳至

所在地: 東京都千代田区神田紺屋町15 グランファースト4F

設立日: 2013年11月25日

資本金: 18億7,828万円(資本準備金含む/2022年12月1日時点)

URL: <https://www.global-mobility-service.com/>

事業内容:

車両遠隔起動制御IoTデバイス「MCCS®」、データ分析プラットフォーム「MSPF®(モビリティサービスプラットフォーム)」を活用した金融包摂型FinTechサービスの提供、およびデータの二次活用サービスの提供

®登録商標 GMS、MCCS、MSPFはGMSの登録商標です。

<報道関係者様からのお問合せ>

Global Mobility Service 株式会社 広報グループ

E-mail: press@global-mobility-service.com